



# 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タチエス

コード番号 7239 URL <http://www.tachi-s.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中山 太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長

(氏名) 野上 義之

TEL 042-546-8117

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	207,463	16.4	4,051	—	3,716	182.5	△250	—
27年3月期第3四半期	178,205	13.0	△1,001	—	1,315	△48.7	△1,017	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,537百万円 (△58.7%) 27年3月期第3四半期 6,141百万円 (△21.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△7.06	—
27年3月期第3四半期	△27.92	—

### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	171,096	—	89,936	—	49.9	—
27年3月期	162,287	—	89,289	—	52.4	—

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 85,342百万円 27年3月期 85,110百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
28年3月期	—	8.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	284,000	13.2	6,600	294.6	6,900	49.5	1,800	103.9	50.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記情報)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	36,442,846 株	27年3月期	36,442,846 株
28年3月期3Q	1,004,491 株	27年3月期	1,004,371 株
28年3月期3Q	35,438,379 株	27年3月期3Q	36,438,861 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考)個別業績予想

平成 28 年 3 月期の個別業績予想(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	△3.3	2,500	△30.1	1,800	△33.9	50.79

(注)直近に公表されている個別業績予想からの修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府と日銀による財政支出拡大、金融緩和の効果や、原油安による原材料コストの低下等により企業収益が改善し、緩やかな回復基調が続いております。また海外におきましては、米国経済は個人消費の回復により堅調を持続しておりますが、新興国経済は米国の利上げや原油安の影響を受け通貨安となり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが関連する自動車業界におきましては、国内市場では軽自動車税増税の影響による販売減少が依然続いております。また東南アジア、ブラジル市場での低迷が長引いておりますが、中国市場での小型車向け減税措置による市場の活性化が見られ、さらに北米市場では、ガソリン価格安などから販売が好調に推移しております。

このような経営環境のもと、当第3四半期連結累計期間における業績は、国内販売は減少したものの、海外での販売台数の増加や為替変動による円換算額増加等により、売上高は2,074億6千3百万円（前年同四半期比16.4%増）となりました。利益面につきましては、海外での売上高増加による利益貢献等により、営業利益は40億5千1百万円（前年同四半期は営業損失10億1百万円）となりましたが、新興国通貨安による為替差損の発生等により、経常利益は37億1千6百万円（前年同四半期比182.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億5千万円（前年同四半期の親会社株主に帰属する四半期純損失10億1千7百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①日 本

軽自動車を中心に販売台数が減少し、売上高は843億8千1百万円（前年同四半期比1.6%減）、営業損失は5千8百万円（前年同四半期の営業損失6億5千2百万円）となりました。

## ②北 米

販売台数の増加や為替変動による円換算額増加により、売上高は388億1千6百万円（前年同四半期比7.7%増）、営業利益は19億5千4百万円（前年同四半期比35.6%増）となりました。

## ③中 南 米

新規受注車種の販売台数の増加等により、売上高は481億6千4百万円（前年同四半期比27.1%増）となりましたが、為替変動に伴う仕入価格上昇等により、営業損失は6億1千8百万円（前年同四半期の営業損失14億1千3百万円）となりました。

## ④欧 州

売上高は3億4千万円（前年同四半期比6.3%増）、営業損失は3億3千万円（前年同四半期の営業損失1億8千7百万円）となりました。

## ⑤中 国

新規受注車種獲得による大幅な販売の増加や為替変動による円換算額増加により、売上高は330億7千4百万円（前年同四半期比103.7%増）、営業利益は31億3千万円となりました。

## ⑥東南アジア

売上高は26億8千5百万円（前年同四半期比38.2%増）、営業利益は6千6百万円（前年同四半期は営業損失2億9千3百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、1,710億9千6百万円と前連結会計年度末に比べ88億9百万円増加しました。これは主に、有形固定資産が8億1千1百万円減少したものの、現金及び預金が47億8千3百万円、受取手形及び売掛金が52億2千5百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、811億5千9百万円と前連結会計年度末に比べ81億6千2百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が67億3千1百万円増加したことによるものであります。

純資産合計は、899億3千6百万円と前連結会計年度末に比べ6億4千6百万円増加しました。これは主に、資本剰余金が2億7千8百万円、利益剰余金が8億5千4百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が8億3千3百万円、為替換算調整勘定が5億4千6百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成27年11月11日に公表しました平成28年3月期の通期連結業績予想を修正いたしました。また、平成27年5月13日に公表しました平成28年3月期の個別業績予想につきましても併せて業績予想の修正をいたしました。

平成28年3月期通期連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	281,000	6,800	7,500	2,450	69.13
今回発表予想(B)	284,000	6,600	6,900	1,800	50.79
増減額(B-A)	3,000	△200	△600	△650	
増減率(%)	1.1	△2.9	△8.0	△26.5	
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	250,940	1,672	4,615	882	24.27

(注1) 通期予想の前提となる主な為替レートは、1米ドル=120円、1メキシコペソ=8円、1ユーロ=130円、1中国人民元=18.5円であります。

(注2) 上記の業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、前回予想に対し、売上高は中国での販売台数増加により増収が見込まれますが、国内販売における車種構成の変化により、営業利益は減益となる見通しです。またこの影響に加え、中南米における為替差損の発生により、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに減益になる見通しであります。

(参考) 平成28年3月期通期個別業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	117,000	3,000	2,300	64.90
今回発表予想(B)	117,000	2,500	1,800	50.79
増減額(B-A)	—	△500	△500	
増減率(%)	—	△16.7	△21.7	
(ご参考) 前期実績 (平成27年3月期)	121,033	3,577	2,724	74.94

平成28年3月期通期の個別業績予想につきましては、上期において国内販売における車種構成の変化に伴う付加価値減少に対し、全社を挙げて合理化に取り組みましたものの、平成27年5月13日に公表しました予想数値より減益になる見通しであります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が2億7千8百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,683	36,466
受取手形及び売掛金	37,788	43,014
有価証券	186	188
商品及び製品	1,812	1,801
仕掛品	816	507
原材料及び貯蔵品	9,302	10,869
その他	8,312	6,004
貸倒引当金	△30	△30
流動資産合計	89,871	98,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,066	12,383
機械装置及び運搬具(純額)	11,964	12,165
その他(純額)	12,389	11,059
有形固定資産合計	36,419	35,608
無形固定資産		
のれん	115	93
その他	1,000	1,011
無形固定資産合計	1,115	1,105
投資その他の資産		
投資有価証券	27,508	28,464
その他	7,379	7,104
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	34,880	35,560
固定資産合計	72,415	72,274
資産合計	162,287	171,096



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	39,573	46,304
短期借入金	2,005	5,168
未払法人税等	1,970	1,105
役員賞与引当金	50	-
その他	16,512	18,378
流動負債合計	60,112	70,957
固定負債		
長期借入金	6,500	3,631
役員退職慰労引当金	13	10
退職給付に係る負債	520	391
その他	5,850	6,168
固定負債合計	12,884	10,202
負債合計	72,997	81,159
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,040	9,040
資本剰余金	9,529	9,250
利益剰余金	52,499	51,644
自己株式	△1,440	△1,441
株主資本合計	69,628	68,494
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,832	5,666
為替換算調整勘定	10,466	11,013
退職給付に係る調整累計額	182	167
その他の包括利益累計額合計	15,482	16,847
非支配株主持分	4,178	4,594
純資産合計	89,289	89,936
負債純資産合計	162,287	171,096

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	178,205	207,463
売上原価	167,373	190,640
売上総利益	10,832	16,823
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	2,977	3,278
発送運賃	1,491	1,535
その他	7,365	7,958
販売費及び一般管理費合計	11,833	12,771
営業利益又は営業損失(△)	△1,001	4,051
営業外収益		
受取利息	164	202
受取配当金	183	242
持分法による投資利益	1,813	1,801
為替差益	42	-
雑収入	197	94
営業外収益合計	2,400	2,341
営業外費用		
支払利息	80	121
為替差損	-	2,548
雑支出	2	5
営業外費用合計	83	2,676
経常利益	1,315	3,716
特別利益		
固定資産売却益	7	2
関係会社株式売却益	287	-
負ののれん発生益	0	-
特別利益合計	294	2
特別損失		
固定資産処分損	54	17
減損損失	-	40
関係会社出資金評価損	68	31
特別損失合計	122	88
税金等調整前四半期純利益	1,487	3,630
法人税、住民税及び事業税	1,847	1,713
法人税等調整額	112	718
法人税等合計	1,959	2,432
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△472	1,197
非支配株主に帰属する四半期純利益	545	1,447
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,017	△250

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△472	1,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,126	833
為替換算調整勘定	3,740	732
退職給付に係る調整額	△6	△33
持分法適用会社に対する持分相当額	1,753	△192
その他の包括利益合計	6,614	1,339
四半期包括利益	6,141	2,537
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,218	1,115
非支配株主に係る四半期包括利益	923	1,422

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」等を適用しております。これに伴う影響は、「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」に記載のとおりであります。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日 本	北 米	中南米	欧 州	中 国	東 南 ア ジ ア	計		
売上高									
外部顧客 への売上高	85,765	36,056	37,883	320	16,235	1,942	178,205	—	178,205
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,375	723	3,248	178	9,375	8	16,909	△16,909	—
計	89,140	36,779	41,132	498	25,611	1,951	195,114	△16,909	178,205
セグメント利益 又は損失(△)	△652	1,441	△1,413	△187	133	△293	△971	△30	△1,001

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日 本	北 米	中南米	欧 州	中 国	東 南 ア ジ ア	計		
売上高									
外部顧客 への売上高	84,381	38,816	48,164	340	33,074	2,685	207,463	—	207,463
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,597	590	3,849	411	9,212	328	17,989	△17,989	—
計	87,979	39,406	52,014	751	42,287	3,014	225,453	△17,989	207,463
セグメント利益 又は損失(△)	△58	1,954	△618	△330	3,130	66	4,144	△93	4,051

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。